

農林水産技術会議の運営改善について

1. 審議事項の重点化

技術会議の総合調整機能の発揮

的確な政策評価の実施と相まって、農林水産研究の総合化と戦略的推進が行いえるよう、研究体制、研究開発予算、民間や公立の試験研究機関との連携等の横割的な総合調整を要する課題について重点的に審議を行う。

主要技術政策課題の検討

ゲノム、GMO、自給率向上、野菜、畜産、環境等一定の研究分野別に研究開発の現状分析と課題整理を行い、今後の方向性を検討する。

2. 専門委員会の効果的活用

技術会議での議論をサポートするため、政策評価専門委員会を新たに設置するほか、必要に応じ専門委員会を置くこととする。

政策評価専門委員会

研究分野別、研究制度別の評価を実施するとともに、評価計画案の策定、評価方法の改善について検討する。

3. 分り易く迅速な情報発信

技術政策レポートの公表

研究分野別に研究開発の現状と課題、今後の方向性について技術政策レポート（仮称）として取りまとめ、公表する。

情報発信機能の強化

情報発信については、これまで個別情報がばらばらに発信されていたきらいがあるので、これを改め体系的な情報発信を行うこととし、ホームページの刷新など広報機能を強化する。

